

自動車用エンジンベアリングで世界シェア40%を目指す

～グローバルに展開する大同メタルグループのマザー工場～



大同プレーンベアリング株式会社

代表取締役社長

伊藤 則義氏

住所：岐阜県関市のぞみヶ丘8番地1

T E L：0575-23-4083

F A X：0575-23-4086

U R L：<http://www.daidometal.com>

事業内容：自動車用エンジン軸受の製造

従業員数：573人

■ 生産体制の統合、移転で効率化を図る

聞き手：御社の歴史と事業内容についてお聞かせください。

伊藤社長：当社は、大同メタル工業(株)の主力製品である自動車エンジン用すべり軸受け製造のマザー工場として、2001年に設立されました。2007年に国内生産拠点の効率化を図るために他の工場と統合され、現在の工場に移転しました。人材、物流の面でも良い土地だとしてここテクノハイランドへの設立に至っています。同社の製造する軸受は船舶・建機・自動車等幅広い分野のものを手掛けていますが、当社は自動車やトラック向けの国内生産拠点として活動しています。

現在は『世界No1の自動車用エンジンベアリング生産会社、大同メタルグループの真のマザー工場を目指して!』を目標に、世界に通用するモノづくりと価値づくりを平均年齢31才のエネルギーあふれる従業員で取り組んでいます。

■ 世界シェア40%を目指す

聞き手：「ものづくり・価値づくり」についてお聞かせください。

伊藤社長：現在自動車の登録数は世界で9,000万台以上

といわれています。我々は中期経営計画で世界シェア40%を目指しています。自動車の発展と共にシェアを獲得していくわけですが、様々な技術開発が日々行われています。その中でもエンジンは非常に重要な位置づけとなっていて、よく言われる燃費、環境といった面で改革や改善が進んでいます。ありがたいことに大同メタル工業(株)の中には様々な技術開発の部門があり、独自開発やお客様と共同で開発を行うなどして、新しい技術や素材が生み出されています。しかし、いかに良い技術であっても高価で時間がかかるものであったらお客様に提供するのは難しいことです。お客様にとってより有益となる技術や製品開発を日々精進して取り組んでいます。

■ 「大同カレッジ」技能道場で人材育成

聞き手：人材育成についてお聞かせください。

伊藤社長：大同メタル工業(株)の大同カレッジでは、技術や管理などを学ぶプログラムがあり、社員一人一人のスキルアップを図っています。また、この工場内には技能道場というものを持っています。「技能」ということもあり、現場配属となったときに必要な基本的なモノづくりの考え方、安全衛生、品質などについて学んでもらっています。

そのほかにも、各生産拠点で取り組んでいるQC活動の優秀チームが集まって大会を行っています。当社からも出

